



## 県議会議員講座「こんにちは！県議会です」開催概要

令和5年12月14日（木）14時25分～15時15分

宮崎県立都城商業高等学校 3年生 156名

講師：本田 利弘 議員

重松幸次郎 議員

### 開催内容

- |                  |              |
|------------------|--------------|
| ① 学校代表あいさつ       | ④ 県議会議員活動の紹介 |
| ② 講師自己紹介         | ⑤ 質疑応答       |
| ③ 県議会の仕組みや役割等の説明 | ⑥ 生徒代表あいさつ   |

### ○ 講座内容

講師である本田利弘議員、重松幸次郎議員の自己紹介のあと、県議会の役割や仕組み、議会の話し合いの内容を知る方法、意見を県議会に伝える方法などについて、スライドで説明しました。

また、議員活動について、生徒等から質問を受けました。

**【質問】** 11月定例会で「鳥インフルエンザの対策強化を求める意見書」を出したことを知りました。鳥インフルエンザの発生は、ブロイラー生産額が全国トップの宮崎県は大きな影響があるが、どのように対策をすればよいと思いますか。

#### 【本田利弘議員】

私は、環境農林水産常任委員会に所属しており、その議案について議論した。今期は、宮崎県では（養鶏場で）鳥インフルエンザの発生は確認されていないが、まずは、鳥インフルエンザが外から入らないようにする対策、入った場合も、その農場内で感染を食い止めることを皆で意識することが重要だと思う。

**【質問】** 最近話題になっている、政治と金を巡る問題・裏金問題について、内閣不信任決議案が出されたり、国民からも政府や政治に対する不信や不安が出ていると思います。県議会議員として、この問題をどのように考えていますか。

#### 【重松幸次郎議員】

決して許されない問題と思っている。真相解明はこれからだが、議員としては「政治資金規正法」の厳格化をすることで裏金がつくられない仕組みをつくったり、不明瞭な交通費や文書費の取扱いを国民が納得できるように改革していく大きなきっかけになると思うし、そうなってもらえるように議会としても、追求していくべきだと思う。

**【質問】** 11月定例会で「食品ロス削減へ国民運動の推進を求める意見書」が出ていました。食品ロスに対して、私たちが簡単にできることや議員が取り組んでいることがあれば教えてください。

#### 【本田利弘議員】

出されたものを全部食べることやお店に陳列された商品を手前からとる「てまえどり」をすること、規格外商品を購入することなど、「みんなで食品ロスに取り組んでいこう」という意識を育てることが大切だと思う。



### 【重松幸次郎議員】

賞味期限が短くなったり、売れ残りそうな商品をフードバンクに寄贈し、こども食堂や生活に困窮する方に届ける取組も進めていくべきだと思う。

【質問】 これまでに、一番、宮崎県に貢献できたと思うことはなんですか。

### 【重松幸次郎議員】

以前は、宮崎カーフェリーに乗船する際は、階段式のタラップで不便だったため、スロープ式のボーディングブリッジを導入することを議員になった年の定例会一般質問で提案し、実現した。また、宮崎港のマリーナに堆積する砂の浚渫に多額の費用がかかるため、防砂堤の整備を提案し、現在、整備が進められている。

### 【本田利弘議員】

県議会議員になってまだ半年だが、自分に期待されていることは、宮崎県と県外の人を繋ぐことだと思っている。これから貢献していきたい。

鳥取県では、高校生が通学する交通費の助成を求めて市議会に「陳情」した例もある。皆さんにも、日頃感じている声を議員や議会に届けてもらいたい。



## ○ 受講された生徒の皆さんへのアンケート結果

・今まで選挙のことをよく知らず、18歳になっても投票に行くつもりはなかったけど、議員の話を聞いて興味を持ちました。早く投票してみたいです。

・選挙を心から興味をもったことがありませんでしたが、今日の講座を通して、自分ももう選挙権のある年齢なので、早く投票をして貢献してみたいという気持ちになりました。

・県議会の仕組みや議員がどのようなことをしているのかを詳しく知ることができました。議員の話を直接聞く機会がほとんどないので、貴重な体験になりました。今までは、興味を持ったことがなかったですが、18歳になり、選挙などできることも増えたので、これを機会に政治について学びたいと思います。

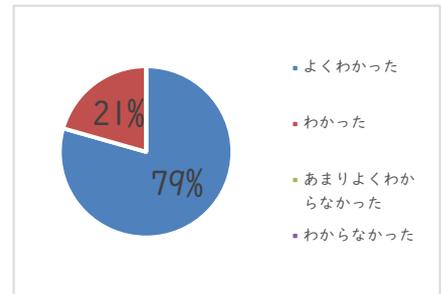
・議会にはたくさんの方が参加していることを知りました。私たちは18歳になり、選挙の投票権があるため、宮崎県のために誰が良いのかを考えて投票をしたいと思いました。

・県議会議員が何をしているのか知らなかったですが、県をよりよくするために議会で議論しているということがわかりました。また、議会の様子を傍聴することができる傍聴席があることや、ホームページでも中継しているということを初めて知りました。

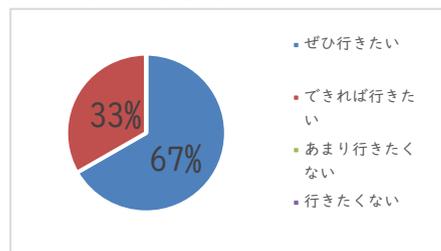
・私はあまり選挙に興味がなく、議員に自分の意見は届かないと思っていました。私はまだ17歳で投票はできませんが、政治などについて学んで日本に貢献したいと思いました。

・県議会の仕組みは、学校の委員会活動と似ていると思いました。また、議員の活動は、県民の困っていることについて議会で議論し、県民と向き合って活動してくれていると知り、嬉しかったです。

問1 講座の内容はわかりやすかったですか。



問2 有権者になったら投票に行ってみようと思いましたか。



問3 県議会やお住まいの市町村の議会の活動に興味がありましたか。

